

今回お話を伺ったのは &gt;&gt;&gt;

## 早稲田大学

早稲田大学大学院  
法務研究科 教授  
宮川 成雄 先生

Lexis.comを利用した授業を行っていらっしゃる宮川先生。1学年270名と多くの在校生が学ぶ早稲田大学法科大学院では、どのようにデータベースをご活用いただいているのか、お伺いしました。

日々どのような法律情報を、どのような方法で収集しているか教えてください。

「日本の最近のものについては、『法律時報』の文献月報の欄を利用しています。また、アメリカの最高裁判例の動向については、コーネル大学ロースクールの最高裁判例の速報サイトから定期的に送信されてくるので、それに基づいて、関心のある判例についてLexis.comを利用してより詳細に調べています。」

冊子体と電子体の使い分けはいかがでしょう？

「電子媒体のものは、過去に遡って包括的に調査するときに利用しています。」

Lexis.comのサービスをどのような情報収集目的でお使いになっていますか？お使いになられて特に便利なところを教えてください。

「アメリカの判例・法令の調査および原文の取得に利用しています。二次文献として、ローレヴュー論文の取得に利用しているほか、中項目方式の法律百科辞典American-Jurisprudence, 2ndを調査対象分野について利用しています。また、活字媒体では数巻におよぶ特定分野のTreatiseがLexis.comに収録されていて、これも便利なので利用しています。」

学生への利用促進・指導はどのように行われていますか？授業のカリキュラムに取り入れていらっしゃる内容について詳しくご紹介いただけますか？

「法科大学院の科目『英米法基礎』で、学期のちょうど中ほどで、アメリカの判例の読み方に慣れてきた頃に、先例拘束原理についての説明をLexis.comを利用して行っています。Lexis.comの画面を確認させながら、実際に判決文に示されている判決の相互関係を、先例判決の遵守や判例変更について有名判決を検索しながら行っています。」

学生の皆様の関心・反応はいかがでしょうか？

「単にアメリカ判決の原文を取得するだけでなく、特定の判決の中で、先例判決がどのように位置づけられているかや、判例の全体的な変遷を容易に知ることができるので、先例拘束原理の機能が具体的に理解できると実感していると思われれます。」

Lexis.comを導入いただいてから何年になりますか？

「10年です。」

在校生数は？

「法科大学院は1学年約270名在籍しています。」

Lexis.comのご利用料金はどこが負担していますか？

「大学図書館が契約しています。」

インタビュー実施日：2009年9月11日